

小中学校教員のメンタルヘルスに影響を与える因子の検討と未測定因子に関する感度分析

教育職員の精神疾患による病気休職者数は平成30年度から令和元年まで増加しており、令和元年の精神疾患による病気休職者数は5,478人であった。これは全教育職員数の0.59%にあたり、教員のメンタルヘルス対策は小中学校における教育業務を遂行するうえで重要な問題となっている。[1]

これまでの研究では、長時間の残業や残業の種類、教職員の給料が教職員のメンタルヘルスに影響を与える可能性が示唆されている。[2][3][4][5]

しかし、教職員のメンタルヘルス調査には主に自記式の質問表が用いられているが、自記式質問紙を用いた調査では教員のメンタルヘルスに影響を与える要因のすべてを測定することができず、未測定要因や測定誤差（誤分類）によるバイアスの影響が否定できない。

卒業論文では、公立学校共済組合教職員の背景要因の探索とメンタルヘルス解析にて得られた、小中学校教員のメンタルヘルスについて調査したデータを使用させていただき、教員のメンタルヘルスに影響を与える因子を解析・検討した後に、未測定交絡についての感度分析を実施する。

本抄読会では、教員のメンタルヘルスと影響を与える因子について、想定している解析項目と解析方法について発表する。併せて、E-valueを用いた未測定交絡の感度分析手法[6][7][8]についても発表する。

【参考文献】

1. 文部科学省 令和元年度公立学校教職員の人事行政状況調査
2. Kidger J, Brockman R, Tilling K. et al. Teachers' well being and depressive symptoms, and associated risk factors: A large cross sectional study in English secondary schools. *Journal of Affective Disorders* 192(2016)76-82
3. Desouky D, Allam H. Occupational stress, anxiety and depression among Egyptian teachers. *Journal of Epidemiology and Global Health* 7(2017)191-198.
4. Akira B, Shigekazu U, and Akiko T. Long working hours and psychological distress among school teachers in Japan *Journal of Occupational Health* 57(2015)20-27.
5. (未発表論文のため割愛)
6. Haneuse S, Vanderweele TJ, Arterburn D. Using the E-value to assess the potential effect of unmeasured confounding in observational studies *JAMA guide to statistics and methods*. *JAMA* February. 12(6) (2019).
7. 2. VanderWeele TJ, Ding P. Sensitivity analysis in observational research: Introducing the E-value. *Ann Intern Med*. 167(4) (2017)268-274.
8. 3. Ding P, VanderWeele TJ. Sensitivity analysis without assumptions. *Epidemiology*. 27(3) (2016)368-377.